《福井市の公民館に思う》

１６年のひとこま

元県公民館連合会会長
元市公民館連合会会長
前湊公民館館長

坂　上　泰　学

平成 11 年 4 月、湊公民館長に就任以来 16 年に亘り公民館人として勤めてまいりました。

我が家から歩いて 10 分の公民館に着くまでに、いろんな人との出会いがあり、挨拶や立ち話がありました。私は、お酒が好きで、夜の会合後には誘われるままお付き合いをしました。そのため地区の情報には事欠かず、私の情報源でした。その中に、「公民館の調理室は汚い」、「和室の畳の粉がつく」との声がありました。公民館の環境の整備が必要だと思い、地区の公民館運営審議会や自治会連合会に動いてもらい、平成 14 年には全面増築することが出来ました。

仮公民館を三秀プール管理棟に移し、業務をはじめましたが、そこにはすばらしい「桜並木」がありました。そこで、地域のコミュニケーションの場と誇るべき財産を地区内外にアピールする場をと、「出愛・振れ愛・学び愛」をテーマに「越前湊さくら祭」を実施しました。今年で 13 回目となり地域資源の育成につながっております。

また、この増改築のため、「公民館まつり」を、湊小学校を会場にし、湊小学校・同ＰＴＡと共催で「湊フェスティバル 2001」として開催しました。公民館完成後も公民館・小学校の両方を会場として実施しており、各種団体総参加となり、学校教育と社会教育の合体が生涯教育の場につながっています。

ちょうどその時期に、市公民館連合会（市公連）会長を引き受けました。平成 15 年に設置された市町村合併が議論されており、公民館の運営管理体制を市長部局の自治組織、ＮＰＯ、指定管理者制度等に委ねる検討がされておりました。市公連は、現福井市方式が全国的にも優秀で、合併後もこの体制を継続するよう、全公民館あげて大々的に署名運動を展開しました。その熱意が実り、現在もこの制度が続いています。

さらに、福井市公民館職員共済会退職積立金の課題がありました。この制度は、昭和 46 年に開始されました。これまでの基金と個人負担とで運用してきたもので、当初はスムーズでした。しかし、年々早期に退職される方が増え、加えて低金利となるなど、合併時には「果実のならない枯木」をかかえている心境でありました。数度の検討会を重ねつつ、最終的には、館長さん方のご理解を得て、公平配分額を決め解決をみました。この陰には、一光公民館長竹田法英氏、元市公連事務局佐藤藤枝氏をはじめ、多くの皆様のご理解とご協力があったからこそと、私の 16 年間の中での大きな思い出となっております。